

新たな行財政改革に関する計画（素案）についての意見交換

（第6回行財政改革懇話会における意見（まとめ））

- 離島の視点が欠けているのではないかと。具体的取組項目もあるのだから、県政を取り巻く環境に「しま」の要素を入れるべきではないかと。
- 県庁が良質な雇用の場であるということについて、書きぶりが難しいとは思いますが、そのニュアンスを含めることができないかと。
- 新県庁舎と行財政改革の関係をもっと明確にする必要があるのではないかと。
- 地域の資源を大事にするという視点を入れ込むべきではないかと。
- 組織として体現しようとしている職務遂行の心構え～長崎県職員スピリット～の内容をしっかりと書き込むべきではないかと。
- 地域力がなくなっている中で、県の拠点がなくなれば、地域が疲弊していくのではないかと。地域経済、地域の活性化の視点を入れ込んでほしい。

○ 県庁舎も変わるが、中で働いている県職員も変わるということを、強くメッセージとして出してほしい。県庁舎が変わるというタイミングで、行財政の効率化・スリム化という計画に一定ならざるを得ないことは理解するが、県庁・県職員をどう変えるのかということが伝わるようにしてほしい。

○ 人・モノ・カネ・情報の旗が見えない。できる限り、目標値を出すべきではないか。

○ 財政面では400億円の基金を確保するということだが、どのような取組でそれを達成する見込みなのかを明確にする必要がある。